

## 第2回 識字・日本語研究集会 開催要項

テーマ：国連識字の10年の取り組みをすすめるために、あらためて「識字・日本語」の意味を考える

目的：

- 1) 大阪府内各地でよみ・かき・ことばに関わる活動をしている人たちが、学習の内容や学級運営の仕方などについて研究交流することで、これからの学習活動がより充実することをめざす。
- 2) 国連識字の10年の取り組みをすすめる。

日程：2004年2月7日(土) 10時～16時

場所：大阪人権センター6階ホールほか

主催：(財)大阪府人権協会 / 識字・日本語連絡会

内容：プログラムを参照

対象：大阪府内の識字学級や日本語読み書き教室、日本語教室、夜間中学校などで学習のパートナーやコーディネーター、運営委員や担当者として活動している人たち。

参加費：無料

参加申し込み：申込〆切2004年2月2日

申し込み・お問い合わせ先

(財)大阪府人権協会 人権啓発部(湊川・柴原)

TEL 06 - 6568 - 2983

FAX 06 - 6568 - 2985

E-mail t-mina@jinken-osaka.jp

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉 1-6-12

## 第2回 識字・日本語研究集会 プログラム

受付 9:30~10:00			大阪人権センター ホール 東館6階
全体会 10:00~12:00			
10:00	報告 全体講演	識字・日本語センターからの報告 ----- 生きなおす、ことば - 生きる希望の光の中に 講師：大沢敏郎さん（横浜 寿識字学級）	
12:00	休憩		
分科会 13:00~15:30			
テーマ		研究の内容	会場
1	識字・日本語センターを活用する	識字・日本語センターが所蔵している書籍や教材資料、ホームページなどをじっくりと時間をかけて閲覧・利用していただきます。	第1研修室 東館3階
2	国連識字の10年を深める	国連識字の10年について認識を深め、識字・日本語連絡会国連識字の10年プロジェクトの『行動計画素案』をもとに「わたしの行動計画づくり」にとりくみます。	第2研修室 東館5階
3	生活情報を使った教材作成	日常生活の中から教材や学習プログラムをつくる方法をさがります。大阪市で作成された教材やハーバード大学で出版された識字講師向けのハンドブックなどを参考にします。	第3研修室 東館5階
全体会 15:30~16:00（分科会報告）			第3研修室
16:00	閉会		

### 全体講演の講師の紹介

大沢敏郎（おおさわとしろう）さん

大沢敏郎さんは、1980年から日本の三大簡易宿泊所(ドヤ)街のひとつといわれている横浜・寿町で、十分な学校教育を受けることができなかった人たちとの識字実践活動を始められ、現在もつづけています。2003年10月に、寿識字学級でのすばらしい人たちとの出会いをつづった本『生きなおす、ことば 書くことのちから\_横浜寿町から』を太郎次郎社エディタスから出版されました。